

12・1総評青年協集會 動労千葉青年部150名、堂々と登場!



本部反動集団の敵対策動が大破産!

一二月一日、総評青年協主催による「有事立法粉碎、反戦、反安保、反合、反マル生闘争勝利、日朝連帯青年労働者中央総決起集會」が東京・明治公園で関東各県評の青年労働者六千余を結集して開催された。動労千葉青年部は、本集會に、県労連青年協の仲間と共に、各支部から青年部員一五〇名の結集をもって参加し、闘う仲間の注目のもと最後まで権力の弾圧をはねかえして闘い抜いた。12・1総評青年協集會への動労千葉青年部の参加は、全国から結集した青年労働者に動労千葉の路線の正義性と強固な団結力を指し示すとともに、動労「本部」反動暴力集団の路線的、運動的破綻をはっきりとつき出すものであった。

動労千葉青年部一五〇名、集會 ・デモを意気高く闘い抜く!

動労千葉青年部一五〇名は、一四時半、全員ヘルメットを着用、横断幕を先頭に会場に入り、県労連青年協四五〇名の部隊と合流した。

集會は、主催者代表の武田総評青対部幹事の挨拶、来賓の在日朝鮮青年同盟代表の挨拶が終ったとき、議長団より、総評青年協の決定・確認として、「この集會とは全く無縁な革マルのピラマキにより集會が混乱している、直ちにピラマキをやめ会場外に退去すること」との通告がされ、全参加者の拍手で確認された。

続いて社会党、部落解放同盟の挨拶をうけ、基調報告に入った。その後、公務員、公労協、総評関東ブロックの順に決意表明がされ、集會宣言アピールを確認、全員でインター合唱、団結ガンバローを三唱し、デモ行進へと移った。

動労千葉一五〇名の部隊は、デモに入っても整然とした規律ある指揮のもと途中権力からの挑発・介入策動をも粉碎し、千葉県労連青年協の仲間と共に敢然として闘いを貫徹した。

またも待伏せ襲撃を策動した動労「本部」反動集団!

動労「本部」反動集団は、4・11錦糸町駅待伏せ襲撃に引きつづいてまたもやわが動労千葉青年部の12・1集會への参加を妨害しようとしてきた。一時ごろから、新小岩駅、錦糸町駅、東京駅などをうろつき廻り、一方、鉄道電話や公衆電話をつかかって、動力車会館に「。。。駅で待っているぞ!」。。。時の電車に乗ったか」などとナーバス電話を再三にわたって入れてきた。

しかし、わが動労千葉青年部一五〇名は、このようなおどしと挑発を断固はねのけ、12・1集會に参加したのである。

⑧動労千葉手帳・作製中!
全組合員・OB会員に配布します。

79.12.4
No.291

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二三八・九・公衆(国)22七二〇七

総評・千葉県労連に泣きつ く動労「本部」反動集団!

動労「本部」反動集団は、この集會に、関東全労働員のみならず中部地評青年部まで狩り出し集めた数なんと五〇〇名足らず、横割りで動員した高崎に至ってはヘル部隊三〇名弱という全く意気上らない状況であった。

二波の闘いを貫徹し、圧倒的な登場をもちつた千葉に対し、総評に泣訴するばかりか、県労連役員に対し、「ヘルも同じ、旗も同じ、作業服まで同じなので困る」とか「排除してほしい」などと愚にもつかないたわごとをならべたてるウロタエぶりであった。

勿論、こんな訳の判らない申入れなど、総評・県労連に一蹴されたのは当然である。

生たまごを投げつけ、公然と敵対する革マル派に弾劾の声拡がる!

集會主催者の総評青年協から再三にわたって退去通告を受けていた革マル派は、集會中、会場内にまぎれ込んでいすわり、デモ出発直前になって、はらいせ的に千葉県労連青年協の部隊に対し、生たまごを数個投げつけ、逃げ去ったのである。

今さらながらに革マルの枯息をやり口と公然たる敵対に千葉県青年協の仲間の内に弾劾の声が拡がっている。

12・1集會の成功にふまえ、 80春闘勝利へ前進しよう!

こうして、動労千葉青年部は、動労「本部」反動集団による枯息な妨害と敵対を断固はねのけ、12・1総評青年協集會に圧倒的参加をもちつたのである。

この力を一層打ち固め、千葉県下の青年労働者との連帯・共闘をさらに強め、全国の闘う仲間との連帯・合流をかちとり、八〇年代労働運動とりわけ、青年部運動の質的強化を闘いとりうてはなにか。